

TOPPAN FORMS

株主通信

第65期 第2四半期

2018年4月1日～2018年9月30日

トップメッセージ

総力を結集し、 成長への礎を築きます

特集1

グローバル事業

アジア地域での事業展開を加速

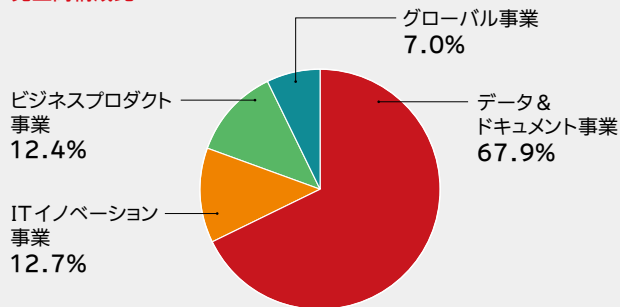
特集2

データ&ドキュメント事業

ITイノベーション事業

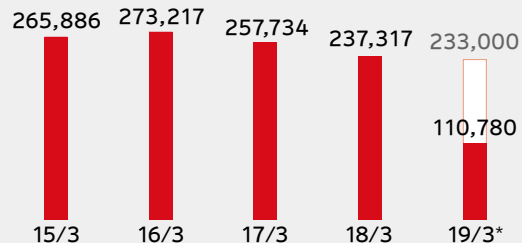
次代を切り拓く
新ビジネスの創出

売上高構成比



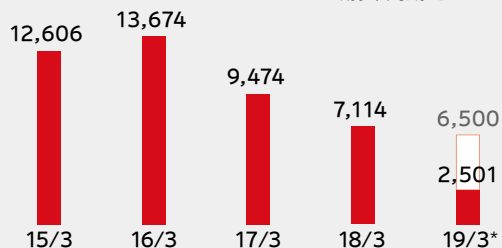
売上高
(百万円)

110,780 百万円
(前年同期比5.9%↓)



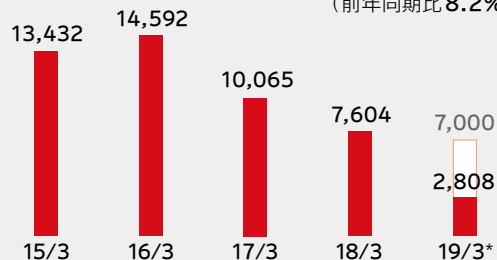
営業利益
(百万円)

2,501 百万円
(前年同期比8.5%↓)



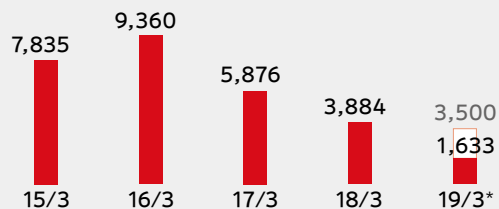
経常利益
(百万円)

2,808 百万円
(前年同期比8.2%↓)

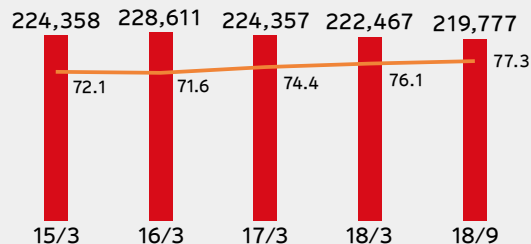


親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益
(百万円)

1,633 百万円
(前年同期比8.5%↑)



総資産 219,777 百万円 自己資本比率 77.3%
(百万円/%)



■ 総資産 — 自己資本比率

01 姫路、青森に新たなBPO拠点を開設

トッパンフォームズは、2018年10月に「BPO サテライト姫路」を兵庫県姫路市に開設しました。「BPO サテライト姫路」は、データの入力作業に特化した関西圏の新たな拠点です。スキャンングやコールセンター業務を受託する日野センターなど他の拠点と連携することで、全国規模でのBPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）受託体制強化に貢献していきます。

また、2018年12月に青森県青森市にも新たな事業所を開設します。地元自治体のバックアップのもと、同事業所の運営を通じて雇用を創出し、地域経済や地域社会の発展にも貢献していきます。

02 第17回印刷産業環境優良工場表彰において経済産業大臣賞を受賞

一般社団法人日本印刷産業連合会が環境問題に対して優れた取り組みを行う印刷工場を選定・表彰する「印刷産業環境優良工場表彰」において、当社グループの関西圏の基幹工場である大阪桜井工場が、経済産業大臣賞を受賞しました。

IoTを活用した損紙の削減活動やAIの導入による人員配置の最適化など、先進技術を取り入れた改善活動に加え、環境マネジメントシステムに沿った取り組みによる成果や工場周辺地域の環境改善活動への貢献などが評価されました。



大阪桜井工場

03 平成30年度障害者雇用職場改善好事例において最優秀賞を受賞

「障害者雇用職場改善好事例」とは、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が主催する、障がい者の雇用管理や雇用環境の改善における優れた事例を募集・表彰し、周知する取り組みです。

当社は独自に策定した障がい者雇用施策の活動計画のもと、障がい者雇用に関する専門知識を持つ社員により編成された専門チームが中心となって課題を明確化し、オフィスレイアウトの改善や、「短時間契約社員制度」「定期通院等休暇制度」など新たな制度の導入をはじめ、さまざまな改善を行う姿勢が評価され、最優秀賞である「厚生労働大臣賞」を受賞しました。



セグメント別売上高

データ&ドキュメント事業

752 億円
(前年同期比 7.5%↓)

ITイノベーション事業

141 億円
(前年同期比 9.8%↑)

ビジネスプロダクト事業

137 億円
(前年同期比 14.1%↓)

グローバル事業

77 億円
(前年同期比 1.2%↑)

総力を結集し、成長への礎を

株主の皆さまには、平素より格別のご支援ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第65期第2四半期連結累計期間(2018年4月1日～9月30日)の決算が終了いたしましたので、ご報告申し上げます。

当第2四半期の経営環境

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、企業収益の改善により雇用環境が着実に改善するなど、緩やかな回復基調を見せています。一方で、相次ぐ自然災害による影響や、海外経済および政治状況の不確実性から、景気の先行きは不透明な状態が続いています。

当社グループを取り巻く環境は、企業の経費削減の徹底や競争の激化による受注価格の下落に加え、IT化・ネットワーク化の進展による紙媒体の需要減少、人件費の上昇などにより、依然として厳しい状況です。また、標的型攻撃などのサイバー攻撃による脅威が増大するなか、情報セキュリティ対策の重要性がより一層高まっています。

当第2四半期の業績

このような経営環境のもと、当社グループは、従来型のソリューションと最先端のデジタル技術を掛け合わせ、新たな価値を提供する「デジタルハイブリッド」の推進に引き続き注力しました。この取り組みを加速させるため、期初に「デジタルハイブリッド」を当社グループ全体の事業ドメインとして掲げ、事業定義の明確化と経営資源配分の最適化を図りました。

築きます

各事業においては、金融機関を中心としたデータ・プリント・サービス (DPS) 需要の取り込みや、デジタルソリューション、ITイノベーション事業などの成長領域における取り組みが進みましたが、ビジネスフォーム (BF) の減収や一部得意先における大型案件の縮小、流通業における特注機器の反動減などが大きく影響し、減収減益となりました。

各事業において新たなビジネスを展開

当第2四半期連結累計期間の業績は厳しい結果となりましたが、期初に掲げた「デジタルハイブリッド新時代 バイオニア 開拓者精神を結集し、新たな価値を創造する。」という基本方針のもと、デジタル領域でのプレゼンス向上と新領域開拓を目指した取り組みの成果が各事業で出始めています。

データ&ドキュメント事業では、デジタル商材のラインアップ強化および拡販に取り組んできましたが、新たに汎用的なデジタル商材の提供を開始しました。幅広い業種へ拡販し、DPS、BPOと絡めた複合案件の創出を図ります。

また、情報セキュリティのノウハウを活かし、パーソナルデータなどの保管や管理を行う「パーソナルデータストア (PDS)」を中心としたデータ流通事業への参入を発表。新たなビジネスに取り組んでまいります。

ITイノベーション事業では、IoT分野において通信技術・LPWAを活用したインフラ業界向けソリューションなど、事

⇒ データ&ドキュメント事業、ITイノベーション事業、グローバル事業の取り組みについて、P5~8の「特集1」「特集2」をご覧ください。

業領域の拡大を図っています。カードビジネスはセキュリティ需要の高まりを受けてIDカードが伸長、ペイメントサービスも利用場面が拡大するなど、順調に推移しています。

ビジネスプロダクト事業では市場ニーズに即した新たな情報機器を市場に投入、グローバル事業では、香港を中心としたDPS、BPO、デジタルソリューションの拡販やASEAN諸国の現地有力企業との協業を進めています。

フロンティア領域からも、新しいプロジェクトが誕生しています。事務作業効率化に貢献するRPAの本格的な市場展開など、早期事業化に向け弾みをつけてまいります。

このように成長分野に経営資源を集中すると同時に積極的な事業投資を行い、スピード感を持って新領域の開拓を推進します。

当社は情報管理ソリューション企業として顧客企業の事務効率化に取り組んできました。現在デジタル化という大波により、厳しい経営環境にありますが、紙をはじめとする「モノ」と「デジタル」のハイブリッドを加速し、成長領域へ経営資源を投入することで、業績の回復を目指します。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月
代表取締役社長

坂田 甲一

アジア地域での事業展開を加速

トッパンフォームズは、香港・シンガポール・タイを主要拠点として製造・販売体制を構築し、アジア地域でのビジネス展開を行っています。現地グループ各社と連携し、幅広い製品やソリューションを提供することで、お客さまのビジネスの推進・拡大を支援しています。

シンガポール



トッパン・フォームズ(シンガポール)社

- ビジネスフォーム
- BPO
- DPS
- デジタルソリューション

香港



トッパン・フォームズ香港グループ

- ビジネスフォーム
- BPO
- DPS
- カードソリューション

タイ



データ・プロダクツ・トッパン・フォームズ社

- ビジネスフォーム
- カードソリューション
- DPS

アジア地域で信頼を積み上げてきたグローバル事業

当社は1972年から海外に拠点を設け、主にアジア地域においてビジネスを展開してきました。ビジネスフォーム、DPS、カードなどの幅広い商品やサービスをワンストップで提供可能であること、機密性の高い情報を取り扱う政府や銀行、クレジットカード会社が求める基準を満たす高度なセキュリティ体制を構築していることなどが、アジアにおける当社グループの強みとなっています。

香港では金融系カードや現地の主要交通カードである「オクトパスカード」の製造・販売を受託。タイでは国際ブランドのクレジットカード供給や政府系IDカードの製造・発行処理、ベトナムでは高速道路ETCカードの製造受託など、品質の高い製品・サービスの提供を通じて、実績と信頼を積み上げてきました。



ASEAN 市場の開拓を中心に事業展開を加速

2016年5月、香港のBPO拠点新設を皮切りに、2018年にシンガポールのデータセンターを刷新、日本国内と同等の情報セキュリティ体制を構築するなど、受注体制の強化に取り組んでいます。これらの拠点を活用し、金融機関を中心に需要が拡大しているDPS、BPOの取り込みを加速します。

カード関連では、高付加価値なカード製造が可能な香港とタイの製造拠点を活用し、インフラ整備の進むASEAN市場への拡販を進めます。

デジタルソリューションでは、シンガポールを起点として、現地パートナー企業とのアライアンスを積極的に実施し、サービスメニューの拡充を進めることで事業基盤の拡大を目指します。

さらにマレーシアやベトナム、インドネシアなどの経済成長が続くASEAN市場において、DPSとBPOを中心に事業投資も含めた形で新たな事業基盤の構築を推進します。

情報セキュリティ対策にグローバルで取り組む

お客さまからお預かりした大切な情報を適切に管理することは、お客さまからの信頼を確固たるものにすると同時に、当社の社会的責務であると認識しています。一方、サイバー攻撃の脅威は世界的に増大しており、世界各地で被害が発生しています。

当社はグローバル情報セキュリティ管理規程を制定し、海外各社が独自の活動を行うとともに、日本本社による情報セキュリティ訓練や監査の実施を通じてさらなる業務改善に取り組んでいます。

次代を切り拓く新ビジネスの創出

既成概念にとらわれない新たなビジネスの創出に向けた取り組みを加速する
トッパンフォームズ。主力事業であるデータ&ドキュメントや
ITイノベーションをはじめとした各事業において、
その新たな芽が出始めています。

データ&ドキュメント事業

● 金融業界を中心に実績を積み上げてきた「オーダーメイド型」商材

帳票の設計から廃棄までの全工程を、紙と電子の両面からサポートする帳票運用管理トータルアウトソーシングサービス。当社はこれまで、企業ごとに異なる業務フローに応じた最適な帳票運用管理サービスを個別に構築し、高機能・高セキュリティで提供する「オーダーメイド型」のビジネスモデルでこれらのサービスを展開してきました。

● 「パッケージ型」商材で顧客基盤を拡大

当社では、新たに「パッケージ型」のアウトソーシングサービスの開発・拡充を行い、順次市場投入を進めています。「パッケージ型」では、帳票の「入力」「出力」「保管」におけるデータのデジタル化など、市場ニーズが高いデジタル領域の標準機能のみに提供サービスを絞り、カスタマイズ不要の汎用型サービスとすることで、低価格・短納期を実現しています。さまざまなお客さまのご要望にお応えすることで、顧客基盤拡大を推進しています。



執行役員
営業統括本部
企画販促本部長
米田 広宣

当社がデジタル領域において存在感を示していくには、常に先のニーズを予測し、他に先駆けた先進的なソリューション、サービスを開発していくことが重要となります。例えば企業のマーケティング活動のプロセスをITを活用して自動化し、業務効率化を図る「マーケティングオートメーション」領域や、個人情報の取り扱いに長けている当社だからこそ強みを発揮できる「PDS/VRM」領域などにおいて、新たなビジネス創出に取り組めます。



ITイノベーション事業

● ICタグ・ラベルのさらなる高度化に挑む

当社はこれまで、精度、耐久性、指向性に優れた高機能なICタグ・ラベルを数多く開発し、お客さまのニーズに即したソリューションを提供してきました。特に、ICタグやラベルのID情報を非接触で読み取るRFIDの技術は、モノの種類や所在の特定に活用され、企業の資材管理や物流工程管理などの業務最適化に貢献してきました。現在はさらにモノの状態を把握できる「センシング機能」を有するICタグ・ラベルの開発にも取り組んでいます。

● RFID技術と無線通信技術を活用し、幅広いお客さまのニーズに応える

収集したデータをクラウドへ送信する手段として、消費電力が少なく通信距離が長いという特徴を持つ無線通信技術「LPWA (Low Power Wide Area)」に注目し、2017年10月、LPWAを活用した独自のビジネスを展開する mtes Neural Networks株式会社と資本提携するなど、無線通信技術活用への取り組みを開始しています。構造物（建物や橋梁など）にセンサーを取り付け、構造物の状態を把握する「構造ヘルスマモニタリング」など、LPWA技術を活用した新しいソリューションを提供するとともに、当社のRFID技術を組み合わせ、データ収集から上位システムとの連携までをカバーするソリューションの開発に取り組み、製造・医療・物流に加え、インフラ業界などにも対応するサービスを提供していきます。



ITイノベーション本部
IoTユニット本部長
岡 正俊

現在、製造・物流に限らず、いろいろな業界で人手不足の解消が課題となっています。その解決に有効な手段として、IoTに対する期待が高まっています。技術的な進歩もあいまって、情報を収集してモノの所在や流れを見える化し、センサー情報を加味することでモノの置かれた環境などの状況まで把握することが可能となりました。今後、ますますLPWAを活用した情報の集約と分析が重要になります。高機能RFIDとLPWA、両者の強みを最大限に活かし、これからも社会のさまざまな課題解決に柔軟に対応していきます。

連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産	123,968	118,241
固定資産	98,499	101,536
有形固定資産	67,930	69,146
無形固定資産	4,445	4,192
投資その他の資産	26,123	28,197
資産合計	222,467	219,777
負債の部		
流動負債	47,458	44,515
固定負債	3,112	2,680
負債合計	50,570	47,196
純資産の部		
株主資本	165,925	166,171
資本金	11,750	11,750
資本剰余金	9,315	9,315
利益剰余金	149,776	150,021
自己株式	△4,916	△4,916
その他の包括利益累計額	3,349	3,726
非支配株主持分	2,622	2,683
純資産合計	171,897	172,580
負債純資産合計	222,467	219,777

連結損益計算書

（単位：百万円）

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (2017年4月1日～ 2017年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2018年4月1日～ 2018年9月30日)
売上高	117,750	110,780
売上原価	93,140	86,943
売上総利益	24,609	23,837
販売費及び一般管理費	21,877	21,336
営業利益	2,732	2,501
営業外収益	464	366
営業外費用	136	59
経常利益	3,060	2,808
特別利益	57	42
特別損失	90	52
税金等調整前四半期純利益	3,027	2,797
法人税等合計	1,472	1,096
非支配株主に帰属する四半期純利益	50	68
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,504	1,633

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (2017年4月1日～ 2017年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2018年4月1日～ 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,327	6,703
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,360	△5,426
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,434	△1,429
現金及び現金同等物の期首残高	58,919	63,852
現金及び現金同等物の 四半期末残高	61,354	63,622

会社概要 (2018年9月30日現在)

商号	トッパン・フォームズ株式会社
英文名	TOPPAN FORMS CO., LTD.
本店所在地	東京都港区東新橋一丁目7番3号
電話	(03) 6253-6000 (ダイヤルイン案内)
設立	昭和30年5月2日
資本金	117億5,000万円
発行済株式総数	115,000,000株

役員 (2018年9月30日現在)

代表取締役社長	坂田 甲一
取締役副社長	亀山 明
常務取締役	岡田 康宏
常務取締役	福島 啓太郎
取締役	足立 直樹
取締役	金子 眞吾
取締役(社外)	ルディー 和子
取締役(社外)	天野 秀樹
取締役	添田 秀樹
取締役	横田 真
常勤監査役	今村 眞二
監査役(社外)	木下 徳明
監査役	佐久間 國雄
監査役(社外)	尾畑 亜紀子

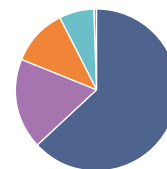
株主(上位10名)・株式分布状況 (2018年9月30日現在)

株主名	当社への出資状況	
	株式数 (千株)	持株比率 (%)
凸版印刷株式会社	67,419	60.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	6,190	5.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	4,192	3.8
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/JANUS HENDERSON HORIZON FUND	2,071	1.9
トッパンフォームズグループ従業員持株会	2,014	1.8
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	1,701	1.5
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,530	1.4
GOVERNMENT OF NORWAY	1,308	1.2
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,191	1.1
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE NVIO1	1,035	0.9

注1. 当社は自己株式4,003千株を保有しておりますが、上記の表から除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

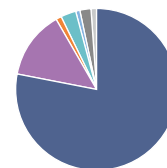
所有者別株式分布状況

■ その他法人	72,688千株 (63.2%)
■ 外国法人等	20,820千株 (18.1%)
■ 金融機関	13,191千株 (11.5%)
■ 個人・その他	7,766千株 (6.8%)
■ 金融商品取引業者	532千株 (0.5%)



所有株数別株式分布状況

■ 100万株以上	89,883千株 (78.2%)
■ 10万株以上	15,609千株 (13.6%)
■ 5万株以上	1,414千株 (1.2%)
■ 1万株以上	3,339千株 (2.9%)
■ 5千株以上	1,189千株 (1.0%)
■ 1千株以上	2,585千株 (2.2%)
■ 1千株未満	978千株 (0.9%)



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ (https://www.toppan-f.co.jp/) に掲載いたします。 なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人・ 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電 話：0120-232-711 (通話料無料) 郵送先：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
1単元の株式の数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所
証券コード	7862

ご注意

1. 株主さまの住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている証券会社などが受付窓口となります。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。郵便物などの発送・返戻、未受領の配当金などにつきましては三菱UFJ信託銀行株式会社に承ります。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に受付いたします。
3. 特別口座に記録された株式を市場で売却する場合は、特別口座から直接売却することができませんので、証券会社などの口座に振り替える必要がございます。



Webサイトでも情報を開示しています

当社コーポレートサイト「IR情報」では、決算短信や決算説明会資料の掲載をはじめ、経営方針や経営戦略、各種お知らせなどを幅広く発信しています。財務情報や事業内容などについての詳細はWebサイトをご参照ください。

URL <https://www.toppan-f.co.jp/ir/>



トッパン・フォームズ株式会社

本店 〒105-8311 東京都港区東新橋一丁目7番3号
<https://www.toppan-f.co.jp/>

みんなの文字®

©TOPPANFORMS 2018.1
COM18004-1811R-070